

●経理上手くんα・経理上手くんαクラウド Version:11.701

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ SQL Server 2019 への対応

- 2022 年 7 月 12 日の SQL Server 2012 サポート終了に伴い、データベースを「SQL Server 2019」に移行する必要があります。そのため、財務処理 d b においても通信・移動の業務の対応を行いました。
※当プログラムをインストールしても、6 月提供予定の「SQL Server 2019 バージョンアップツール」にてバージョンアップを行うまでは、通信・移動においても変更等はありません。
- SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間での移動については、すべてのプログラムで移動できるように対応しています。
 - ・マスター & データ送信・移動
 - ・財務マスターコピー
- SQL Server 2019 から SQL Server 2012 への移動については、通信処理「マスター & データ送信・移動」業務のみ可能としています。（IZM 形式）

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**財務処理 d b（VERSION:11.701）の変更点**”を参照してください。

❗注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.701) の変更点

改 良

I. 導入・更新

1) 翌期更新

①各工種の内税・外税の消費税が繰り越されるように対応しました。(建設マスターのみ)

2) 前年度からの更新

①各工種の内税・外税の消費税が繰り越されるように対応しました。(建設マスターのみ)

II. 原票ビューア (電帳法対応オプションのみ)

1) 原票ビューア

①F5 印刷／印刷設定

印刷設定の文言を変更しました。

②検証

検証画面の表示を下記のように変更しました。

1.会計事務所様側の会社登録にて「タイムスタンプの付与を保存要件とする」のチェックを ON にしている場合。

タイムスタンプと時刻検証の確認ができるように、下記の画面を表示します。

○件数表示について

タイムスタンプ有効件数 ○件
タイムスタンプ未付与件数 ○件
タイムスタンプ無効件数 ○件
全件数

「時刻検証結果」を押すと、下記の画面を表示します。

取得年月日：タイムスタンプの取得年月日を表示。

有効期限：タイムスタンプの有効期限を表示。

TS：○

検証：タイムスタンプの検証結果を表示。

2.会計事務所様側の会社登録にて「タイムスタンプの付与を保存要件とする」のチェックを OFF にしている場合。

原票番号	取得年月日	有効期限	TS	検証	エラー内容
1	2022/03/30 09:50:16	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
2	2022/03/30 09:50:52	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
3	2022/03/30 10:11:28	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
4	2022/03/30 10:20:34	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
5	2022/03/30 10:21:35	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
6	2022/03/30 10:34:13	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
7	2022/03/30 10:44:58	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
8	2022/03/30 11:31:02	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
9	2022/05/12 12:02:26	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
10	2022/05/12 12:03:46	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
11	2022/05/12 12:05:20	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
12	2022/05/12 12:05:53	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
13	2022/05/12 12:10:22	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
14	2022/05/12 12:12:45	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
15	2022/05/18 15:35:56	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
16	2022/05/18 15:37:47	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
17	2022/05/20 14:08:26	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
18	2022/05/20 14:13:02	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。

時刻有効件数	2件	前頁[Page]	次頁[Page]
時刻未付与件数	16件		
時刻無効件数	0件		
全件数	18件		

詳細表示 印刷 確認

○件数表示について
 時刻有効件数 ○件
 時刻未付与件数 ○件
 時刻無効件数 ○件
 全件数

※当プログラムをインストール前に保存した原票には時間が付与されていません。
 時刻未付与件数に集計されます。

2) パスワードで保護されているファイルについて

- ・パスワードで保護されているファイルは、画像の表示ができないため、下記画像で表示するようにしました。



Ⅲ. グラフ (Pro IIのみ)

1) 全般

- ①以下の各業務で「Excel 出力」に対応しました。

『売上関係図表』『前年実績比較推移グラフ』『資産・資本構成図表』『損益構成図表』
 『損益分岐点図表』『科目別比較グラフ』『複合比較(5科目)グラフ』『部門対比(5科目)グラフ』
 『科目別比較推移(予測)グラフ』『複合推移(5科目)グラフ』『部門対比推移グラフ』
 『Zチャート』『ABC分析・パレート図』『経営内部透視図表(レーダーチャート)』
 『業種別レーダーチャート』『前期対比レーダーチャート』

- 設定画面およびオプションの出力設定により作成される印刷帳票の金額・率等の数値部分やコメントなどを Excel 出力します。

(例) 『前年実績比較推移グラフ』 金額欄表示位置：下

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q			
1	前年実績比較推移グラフ						会社 社 名：[22042801] サンプル株式会社													
2	決算期間：自 4年 1月 1日 ~ 至 4年12月31日 処理月:12月度 [決修月]																			
3	(単位：千円)	当月	前年同月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	月平均	当期累計	前年同月迄			
4	純 売 上	18000	12000	1500	3000	4500	6000	7500	9000	10500	12000	13500	15000	16500	9750	117000	78000			
5	売 上 原	9000	6000	750	1500	2250	3000	3750	4500	5250	6000	6750	7500	8250	4875	58500	39000			
6	販売費及び	750	500	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	9000	6000			
7	支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
8	営 業 利	8250	5500	0	750	1500	2250	3000	3750	4500	5250	6000	6750	7500	4125	49500	33000			
9	経 常 利	8400	5600	150	900	1650	2400	3150	3900	4650	5400	6150	6900	7650	4275	51300	34200			

『前年実績比較推移グラフ』 金額欄表示位置：右

	A	B	C	D	E	F	G
1	前年実績比較推移グラフ 会社名：[22042801] サンプル株式会社						
2			決算期間：自 4年 1月 処理月：12月度 [決修月]				
3	(単位：千円)	純売上高	売上原価	販売費及び一般管理費	支払利息	営業利益	経常利益
4	当 月	18000	9000	750	0	8250	8400
5	前年同月	12000	6000	500	0	5500	5600
6	1月	1500	750	750	0	0	150
7	2月	3000	1500	750	0	750	900
8	3月	4500	2250	750	0	1500	1650
9	4月	6000	3000	750	0	2250	2400
10	5月	7500	3750	750	0	3000	3150
11	6月	9000	4500	750	0	3750	3900
12	7月	10500	5250	750	0	4500	4650
13	8月	12000	6000	750	0	5250	5400
14	9月	13500	6750	750	0	6000	6150
15	10月	15000	7500	750	0	6750	6900
16	11月	16500	8250	750	0	7500	7650
17	月平均	9750	4875	750	0	4125	4275
18	当期累計	117000	58500	9000	0	49500	51300
19	前年同月累計	78000	39000	6000	0	33000	34200

- ファンクションキー [F3] に「Excel 出力」を追加しました。
※従来の設定画面では、[F3] に「コメント」を配置していましたが、[F8] [F11] [Ins] のいずれかに移動しました。（業務によりすでに使用している場合があるため）
- Excel 出力のファイル名について
(例) 帳票名：科目別比較グラフ
会社名：サンプル株式会社
期末年月：令和 4 年 12 月
Excel ファイル名：科目別比較グラフ・サンプル株式会社・04 年 12 月.csv
 - ・帳票名の部分は「全角 19 文字＋半角 1 文字まで」です。
 - ・部門 ON のときはファイル名の頭に「部門・」と付きます（帳票名の文字数は変わりません）。
※『部門対比（5 科目）グラフ』『部門対比推移グラフ』では「部門・」は付きません。
※「PDF 出力」においても、部門 ON のときはファイル名の頭に「部門・」と付くように対応しました。
 - ・業務により帳表名は最大 20 文字登録できますが、上記文字数を超える場合は後ろからカットします。
- 印刷帳票のタイトル部分がファイルの帳票名になります。
(設定画面：出力帳票 No.の右側＝帳票タイトル変更可能)
『科目別比較グラフ』
『複合比較（5 科目）グラフ』
『部門対比（5 科目）グラフ』
『複合推移（5 科目）グラフ』

出力帳票No.	1	科目別比較グラフ
区分	科 目	枝番
明細	売 上 高 1	発生

(設定画面：詳細項目設定の帳票名＝帳票タイトル変更可能)

『科目別比較推移(予測) グラフ』

『部門対比推移グラフ』

『Zチャート』

詳細項目設定	
売上高 1	▼
帳票名	科目別比較推移(予測) グラフ

(設定画面：グラフの種類＝帳票タイトル固定)

『売上関係図表』

グラフの種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 売上高関係図表	<input checked="" type="checkbox"/> 販管費関係図表
<input checked="" type="checkbox"/> 売上原価関係図表	<input checked="" type="checkbox"/> 営業利益関係図表
<input checked="" type="checkbox"/> 売上総利益関係図表	<input checked="" type="checkbox"/> 経常利益関係図表

(帳票タイトル固定)

『前年実績比較推移グラフ』 『資産・資本構成図表』 『損益構成図表』 『損益分岐点図表』

『A B C分析・パレート図』 『経営内部投資図表(レーダーチャート)』

『業種別レーダーチャート』 『前期対比レーダーチャート』

- ・Excel 出力時に複数の帳票を指定している場合は、1つのファイルで出力され、最初に出される帳票がファイル名になります。

- Excel 出力時は金額の桁数が大きくなっても、指定した「単位」の金額で出力します。
印刷プレビューで、単位を「自動」にして出力する警告メッセージは表示されません。
- Excel 上で括弧を付けるとマイナスに変換されるため、オプションの出力設定で部門（枝番）の出力方法を「コードのみ」にした場合はコードに括弧は付きません。
- 『三期対比診断書』のExcel 出力において、印刷・プレビューと同様に『業種別レーダーチャート』『損益分岐点図表』の業務画面に遷移するように対応しました。
 - ・CSV ファイルを最大化で表示していると、『業種別レーダーチャート』『損益分岐点図表』をExcel 出力後はCSV ファイルが前面に表示されて業務画面が見えなくなります。
その場合はCSV ファイルを縮小または最小化して処理を進めてください。
- 『三期対比診断書』のExcel 出力で、前々期のデータがないマスターにおいて、オプションの詳細設定を「当期から出力する」でExcel 出力すると、『「当期」を挿入できませんでした。』と表示されるのを修正しました。

2) 資産・資本構成図表

①集計方法(発生・累計)の初期値を「累計」に変更しました。

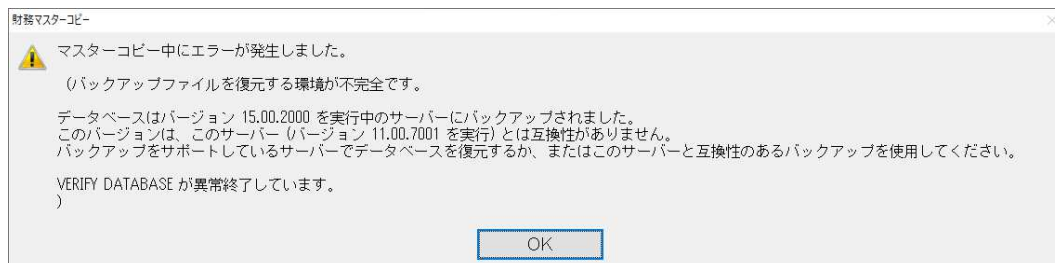
- ・新規マスター(一度も「資産・資本構成図表」を起動していないマスター)は「累計」になります。
- ・既存マスターでは、直前の処理で集計の選択を「発生」にしていた場合は「発生」に、「累計」にしていた場合は「累計」になります。

<input type="checkbox"/> 前期以前の決修月を集計する	
前期以前の集計期間	当期と同期間 ▼
自動棚卸	計算しない ▼
集 計	累計 ▼
タ イ プ	金額 ▼

IV. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間でのコピーが可能です。
SQL Server 2019 の環境でコピーしたマスターを、SQL Server 2012 の環境へ復元しようとする
と下記のメッセージを表示します。このメッセージが表示された場合、復元するためには
SQL Server 2012 から SQL Server 2019 に移行が必要になります。



2) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

3) マスター&データ抽出

①SQL Server 2019 に対応しました。

SQL Server 2019 の対応について

SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間での移動については、
すべてのプログラムで移動ができるように対応しています。

- ・マスター & データ送信・移動
- ・財務マスターコピー

SQL Server 2019 から SQL Server 2012 への移動については、通信処理「マスター & データ送
信・移動」業務のみ可能としています。(IZM 形式)

	SQLServer2012 ↓ SQLServer2019	SQLServer2019 ↓ SQLServer2012	SQLServer2012 ↓ SQLServer2012	SQLServer2019 ↓ SQLServer2019
マスターコピー	○	×	○	○
マスター送信・データ抽出	○	○	○	○

V. 工事台帳（建設上手くんαPro IIのみ）

1) 工種残高の更新方法の変更について

①「翌期更新」「前年度からの更新」で各工種の内税・外税の消費税が繰り越されるように対応しま
した。

●各業務の変更点

①工事残高登録

(例) 下記の仕訳を入力している場合

経理処理 税抜方式

工事現場 00000001

材料 仕入 1 / 現 金 内税 2,000,000

材料 仕入 2 / 現 金 外税 3,000,000

未成工事受入金 / 完成工事高 内税 10,000,000

従前のシステムで翌期更新（前年度からの更新）後の工事開始残高

工事番号	00000001												工事現場①				
処理月	開	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	決	入力開始月 1月	<input type="checkbox"/> 実額入力を行う	
熟度登録	合計確認																
区分:	未成工事																
工種番号/工種名称	割合	合計	内税	(消費税)	外税	消費税											
5 共通費配賦	10%	0	0	0	0	0											
7 期首材料	10%	0	0	0	0	0											
8 材料仕入 1(I)	10%	1,818,182	1,818,182														
9 材料仕入 2(I)	10%	3,000,000	0	0	3,000,000	0											

完成工事高

科目	合計	内税	(消費税)	外税	消費税	非課税	不課税	前期消費税
完成工事高	9,090,910	9,090,910	0	0	0	0	0	909,090
完成工事高 10%	9,090,910	9,090,910	0	0	0	0	0	909,090
完成工事高 8%	0	0	0	0	0	0	0	0
完成工事高 5%	0	0	0	0	0	0	0	0

今回のシステムで翌期更新（前年度からの更新）後の工事開始残高

工事番号	00000001												工事現場①				
処理月	開	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	決	入力開始月 1月	<input type="checkbox"/> 実額入力を行う	
熟度登録	合計確認																
区分:	未成工事																
工種番号/工種名称	割合	合計	内税	(消費税)	外税	消費税											
5 共通費配賦	10%	0	0	0	0	0											
7 期首材料	10%	0	0	0	0	0											
8 材料仕入 1(I)	10%	1,818,182	2,000,000	181,818	0	0											
9 材料仕入 2(I)	10%	3,000,000	0	0	3,000,000	300,000											

完成工事高

科目	合計	内税	(消費税)	外税	消費税	非課税	不課税
完成工事高	9,090,910	10,000,000	909,090	0	0	0	0
完成工事高 10%	9,090,910	10,000,000	909,090	0	0	0	0
完成工事高 8%	0	0	0	0	0	0	0
完成工事高 5%	0	0	0	0	0	0	0

- ・上記の様に、期首残高に消費税額が集計するようになります。
※ただし、集計されるのは前年からの消費税で、2年にわたるような工事の場合は、消費税額を手修正していただく必要があります。

- ・一括税抜きマスターの場合、更新後に前期の完成高の消費税を保持するために「前期消費税」の列を表示していましたが、今回の対応で別途保持する必要性がないため、当バージョンで更新処理を実行後は「前期消費税」の表示をカットしています。

②工事関連帳票業務／工事登録業務

- ・新規に工事台帳マスターを作成、また、今回のプログラムで翌期更新、前年からの更新を行ったマスターでは、各工事関連帳票業務に、「期首残高に消費税を反映させる」選択を追加しました。
- ・画面左上の消費税の経理処理選択を「既定」以外にすると、チェック可能になります。
チェックを付けると期首残高に消費税を反映させた帳票を出力することが可能になります。

(1) 工事登録

・工種金額情報／入金情報

基本情報		予算情報		工種金額情報		入金情報	
既定(全税抜)	税 込						
工事番号	00000001	現在登録数		1			
工事名(正式)	まるまるビル						
施主名	丸						
共通工事区分		共通費配賦	しない		<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる		
契約日	令和03年12月01日	着工日			請負金額	38,500,000	
完成予定日		完成日			完成区分	未成	
処理月	12	1	2	3	4	5	6
	04	年	12	月	31	日	

工種番号	工 種 名	前 月 残 高	借方発生額	貸方発生額
1	材 料 費	5,300,000	0	0
2	労 務 費	0	0	0
3	外 注 費	0	0	0
4	現場 経費	0	0	0
5	共通費配賦	0	0	0
6	【合 計】	5,300,000	0	0
7	期 首 材 料	0	0	0
8	材料 仕入 1(I)	2,000,000	0	0
9	材料 仕入 2(I)	3,300,000	0	0

(2) 工事台帳出力

既定(全税抜)		税 込	
出力帳票の選択			
帳票の種類	現場別工事台帳		
用紙サイズ	A3		
出力期間の指定			
出 力 月	12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 決		
	04 年 12 月 01 日 ~ 05 年 11 月 30 日 決		
<input type="checkbox"/> 指定期間を合算する			
出力範囲指定			
部 門			
都道府県	全選択/解除		
工 事	すべて		
詳細項目指定			
工事区分	すべて		
完成日指定	すべて		
	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
出力対象	すべて		
<input type="checkbox"/> 日計で出力する <input type="checkbox"/> 繰越行・合計行を網掛け出力する			
<input type="checkbox"/> 月計を出力する			
<input type="checkbox"/> 当月迄の累計を出力する			
<input type="checkbox"/> 振替仕訳を出力する			
<input type="checkbox"/> 配賦額仕訳を出力する			
<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高を含めて出力する			
<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる			
<input type="checkbox"/> 取引を1枠内に出力する			
<input type="checkbox"/> 科目コードを出力する			

※「期首残高を除いて出力する」の文言を「期首残高を含めて出力する」に変更しています。

(3) 工事・工種別原価集計表出力

既定(全税抜)		税 込	
出力帳票の選択			
帳票の種類	工事別工種原価集計表(明細1)		
用紙サイズ	B4		
出力期間の指定			
出 力 月	12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 決		
	04 年 12 月 01 日 ~ 05 年 11 月 30 日 決		
出力範囲指定			
集計工事			
工 事	すべて		
工 種	1 ~ 9999		
詳細項目指定			
工事区分	すべて		
完成日指定	すべて		
	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
出力対象	すべて		
出力区分	集計		
<input checked="" type="checkbox"/> 累計に期首残高を含めて出力する			
<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる			
<input type="checkbox"/> 共通費を合計に含めない			
金額単位 <input type="text" value="円"/>			
<input type="checkbox"/> カンマ表示			
<input type="checkbox"/> 決算月を単独表示する			
<input type="checkbox"/> 合計行・分類行を網掛け出力する			

※「累計に期首残高を除いて出力する」の文言を「累計に期首残高を含めて出力する」に変更しています。

(4)工事別管理集計表出力

※「累計出力時、期首残高を除いて出力する」の文言を「累計出力時、期首残高を含めて出力する」に変更しています。

VI. 銀行 CSV 取込

1) 摘要仕訳編集

①Atlas シリーズ「カード明細読取」の対応により、複合仕訳登録のタブ名称を以下に変更しています。

【変更前】複合仕訳（銀行・通帳読取用）

【変更後】複合仕訳（銀行・通帳・カード読取用）

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①一括修正で未確定科目から課税科目に一括修正を行ったときに、修正後の税額が0、消費税が「内10」又は、「特仕」等の表示になる場合があったのを修正しました。

2) 伝票発行

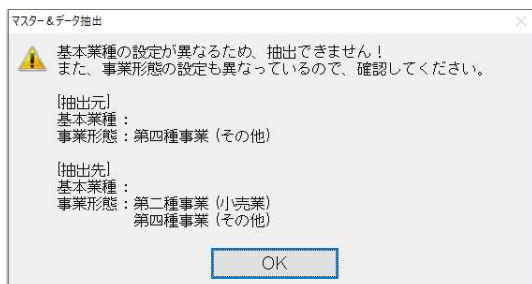
①経理上手くんαで、ユーザー登録にて一般ユーザーで作成、権限詳細で残高閲覧可（利益、純資産閲覧不可）、仕訳入力（他者入力閲覧・訂正可）と設定していると業務が起動できなかったのを修正しました。※DX、Pro II は問題ありません。

Ⅱ. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ①顧問先マスター（枝番あり）で、原則課税から簡易課税、簡易課税から原則課税に切替えたマスターをマスター送信して抽出すると、転送先が簡易課税で枝番なしの場合に、転送元の業種が空白で表示され、転送先が枝番ありの場合は転送元の基本業種が空白で表示されていたのを修正しました。

転送先・転送元のいずれかが免税の場合でも簡易課税の事業形態不一致が表示される場合もありました。



Ⅲ. 工事台帳（建設上手くんαProⅡのみ）

1) 工事登録

- ①各日付入力欄でうるう年でない年でも「2月29日」が入力可能となっていたのを修正しました。
工事一括処理、工事台帳、工事・工種別原価集計表、工事別管理集計表、完成工事処理等の各業務の「完成日指定」にも対応を入れています。
- ②工事項目一覧表を Excel 出力したときに、「」を挿入できませんでした。」と警告メッセージが表示されていたのを表示しないように修正しました。
※メッセージが表示されても、作成された Excel 帳票には問題ありません。

2) 工事台帳出力

- ①現場別工事台帳（請負＋原価集計）タイプ B の Excel 出力
入金額がなく、完成工事仕訳を作成した月（完成工事高の消費税が印字される状態）で Excel 出力すると、入金合計に完成工事高の消費税が出力されていたのを修正しました。
- ②「一括印刷・電子帳票作成」税処理方式の設定が保存されていなかったのを修正しました。

3) 工事台帳出力／工事・工種別原価集計表出力／工事別管理集計表出力

- ①工事登録後、共通費配賦設定を「しない」から「する」に設定変更して、配賦処理の計算方法を「任意配賦率（少数以下1桁又は2桁）」に設定した場合、工事登録では共通費配賦の設定ができませんが、出力時に「共通費配賦処理が「する」に設定されています。配賦設定を「する」に設定している工がありません。」という不要なメッセージが表示されていたのを修正しました。

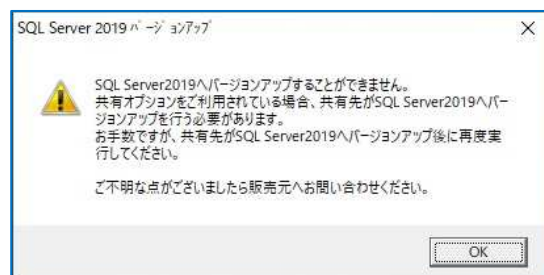
クラウド共有オプションを使用している場合の注意点

- クラウド共有オプションを使用している場合、会計事務所、上手くんαシリーズの双方で SQL Server 2019 に上げて頂く必要があります。

«SQL Server 2019 へバージョンアップに関して»

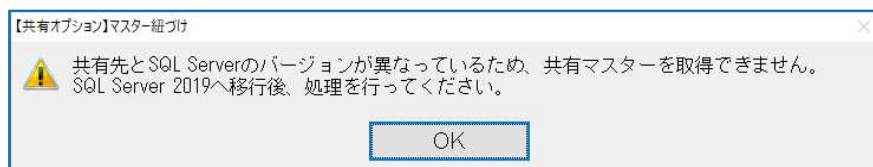
共有先（会計事務所様）が先に 2019 へバージョンアップを行わないと実行できません。

先に会計事務所様側にて 2019 へバージョンアップを行い、バージョンアップを行ってください。



«【共有オプション】マスター紐付け（クラウド共有設定）»

共有マスター取得時、共有先が 2019 へバージョンアップを行った場合、共有元も 2019 にバージョンアップしないと、共有マスターは取得できません。



上手くんαクラウド

1）表形式（経理上手くんαクラウド ProⅡ・建設上手くんαクラウド ProⅡのみ）

- ①上手くんαクラウド環境で「表形式」業務を使用できるようにしました。

※クラウド環境では『ファイル名を会社ごとに保存する』のチェックが有効であっても、会計事務所（ATOMⅡクラウド）と顧問先（上手くんαクラウド）で、別々に保存する対応を行っています。

2）銀行 CSV 取込

- ①上手くんαクラウド環境で「銀行 CSV 取込」業務を使用できるようにしました。

※クラウド環境では取込元のファイル名を、会計事務所（ATOMⅡクラウド）と顧問先（上手くんαクラウド）で、情報を別々に保存する対応を行っています。

以上